

2018年4月26日

関係各位

南山大学人文学部長 青柳 宏

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、南山大学人文学部において、下記の要領で専任教員を公募することとなりました。つきましては貴学関係者にご周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名および人員 准教授または講師 1名
2. 所属 人文学部日本文化学科
3. 専門分野 日本語学 (国語学)
4. 担当予定科目 日本文化学演習、日本文化学基礎演習、日本語の多様性、日本語学概論、日本語史Ⅰ・Ⅱ、日本語学と日本文化、共通教育科目
将来的には上記以外で大学院科目担当の可能性もあり。
5. 応募資格
 - (1) 専門分野に関する博士の学位を有する方(今年度中に取得予定の方を含む)。
 - (2) 歴史的視野を含めた多角的な観点から日本語を研究している方。
 - (3) 学内の諸業務を十分に遂行できる日本語運用能力を有する方。
 - (4) 名古屋市内またはその近郊に居住できる方。
6. 採用予定 2019年4月1日
7. 応募締切 2018年7月2日(必着)
8. 応募書類
 - (1) 履歴書(大学入学以降・写真貼付)
 - (2) 研究教育業績一覧: ①著書 ②論文(博士・修士論文も含む) ③学会発表 ④教育活動 ⑤その他
 - (3) (2)に記載の各著書と論文(①および②)の概要: 日本語で400字程度に要約し、論文については査読の有無、共著の場合には分担率(「分担率80%」等と表記)を記載してください。
 - (4) 著書、論文で主要なもの5点(抜き刷りまたはコピーも可。研究教育業績一覧には、該当

する業績に○を付してください)

- (5) 本学科において、これまでの経験も踏まえてどのような研究教育を行おうとするかについてまとめたもの(2000 字程度)
- (6) 最終学位取得証明書(学位記のコピーでも可)
- (7) 2名からの推薦状各1通(計2通。本人と推薦者との関係を明記し厳封のこと)

9. 選考方法

書類審査後、最終選考に残った応募者に対して面接を行います(8月下旬から9月を予定)。その際に専門分野についての模擬授業・講義を求めることがあります(面接のために要する旅費は自己負担となります)。

10. 書類送付先

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

南山大学人文学部事務室「日本文化学科教員公募」係

(封筒の表に「公募書類在中」と朱書きの上、書留郵便、EMS等で送付してください)

問合せ先： 南山大学人文学部日本文化学科

メールアドレス：nihonbunka-jinji@nanzan-u.ac.jp

その他：

- (1) 提出書類は一切返却しません。ただし、著書、論文等の現物が提出された場合には申し出により選考後に返却します(提出書類にその旨明記してください)。
- (2) 最終選考に残った応募者に対しては、選考後に全研究業績の現物あるいはコピーの提出を求めます。
- (3) 必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。
- (4) 応募において提出された個人情報、本学の個人情報保護に関する規定に従って適正に管理し、人事選考以外の目的には使用しません。

以上